

鐘華会九州支部だより

九州支部だより 第 36 号

発行 2019 年 5 月 25 日

発行人 中村 晃

「皇居勤労奉仕」に行ってきました

渡 邊 和 憲



(東京駅前にて 前列右端が渡邊さん)

皇居勤労奉仕とは、全国から団を組んで上京し、手弁当で皇居清掃をする行動。戦後始まったご奉仕が、今日迄続いているそうです。

今上天皇にお目にかかれ、お言葉を頂ける最後の機会でも今回も申込みが殺到。

＜ 茨木市歴史講座 ＞の我が奉仕団は、抽選 3 度目で 1 月 29 日からのご奉仕が実現。団員 43 名の 1 員として小生初参加出来ました。

皇居では、各地から集まった 6 組の団員（150 名程）が、4 列縦隊で整列し点呼の後、清掃エリアへ徒歩移動します。と言っても、35 万坪の広大な皇居ですから大変です。

同行の宮内庁庭園課の方が、草花や建物等を解説してくれます。面白いエピソード等交えサービス精神旺盛です。普段立入出来ない御所や宮殿の庭園を清掃しつつ、自由散策できる素晴らしい体験です。（東京のど真ん中とは思えない静けさと自然）

赤坂御苑では、徳仁皇太子、皇室では明仁天皇、美智子皇后様より各団長への親しいお声掛けを戴き感動しました。園遊会庭園での記念撮影や皇室アルバム、和菓子土産迄頂戴し、皇室、宮内庁のご配慮に感謝、感動の 4 日間でした。

- ・ 皇居勤労奉仕が始まったのは昭和 20 年。終戦直後、皇居も空襲に遇い、焼け落ちた場所があつたことを知った宮城県の有志が「後片付けをさせてほしい」と手弁当で上京、奉仕が許されたことがきっかけとなり、全国から続々と奉仕団が集まるようになり、今日まで続いている。
- ・ 平成の天皇陛下のご譲位が決まったことを契機に「最後のご奉公」と申し込みが殺到した。また、5 月からは令和の天皇陛下に一目会いたいと、そのブームは続いている。

近況報告 （春の行事返信）

（欠席）

原 哲郎 羽犬塚は 20 代の頃に数ヶ月滞在した懐かしい場所ですが、参加できなくて残念です。秋の支部例会で皆様にお会いするのを楽しみにしています。

渡邊和憲 Q10 とスポーツジムと晩酌で元気です。

坂元 均 5 月 19 日（日）に久留米駅近くのホテルで楽器演奏発表会に出演のため、この週は色々行事が予定されています。従って出席できそうにありません。

山中俊一 相変わらず頰椎症治療中です。

永井辰夫 中古ではありますがトラクター、コンバイン、乾燥機等 6 点を○百万円で購入したので、5 年間は支払があるため、ゼイタクは出来なくなりました。

池田広治 仕事の次に大事なテニスを休まざるを得ないことがあって（膝を痛め、白内障の手術等）テニスのできない時に、喜寿の手習いで短歌を始めたところです。

成相定雄 桜の開花に合わせるように筋肉も緩んできたので、外での活動を増やしています。花・野菜の植え付け等に精を出しています。

王寺常雄 当方、睡眠負債を抱え、未だ体調回復せず、申し訳ありませんが、今回欠席させていただきます。

薬師寺是文 健康第一にして毎日ジムへ通いサウナ風呂を楽しんでいます。

真部邦則 4 月 13 日に 92 歳で父親が亡くなりました。1 月中の入院と 2 月、3 月の自宅介護でしたが、「ありがとう、俺は幸せだった」との言葉を残して天寿を全うしました。

ヘルパーの方々に助けられて、楽しく介護ができました。初七日が終わって各種手続きを始めましたが、妻と共に元気です。

外泊は出来ませんが、ゴルフには参加しますので、よろしくお願いします。

（出席）

小林憲二 来年まであと一年現職を継続することになりそうで、引き続き単身赴任生活が続きます。そろそろ体調に気をつけて糖尿の定期通院と検査もあり、無理は出来ないと思っています。

市木 丞 「悠々閑閑」平凡な日々。毎日楽しく過ごしています。

上野與志隆 脊柱管狭窄は MES と週一のマッサージで何とか凌ぎ中。一昨年夏よりの右目黄斑浮腫は、手術するも状況改善見えず。読書に不便。また、ゴルフ下手の理由にしている。その他、認知症気配あるも概ね異常なし。

廣政 誠 早朝ウォーキング中に、反射材を付け懐中電灯を持ってジョギングする小学低学年の男子に合うようになりました。朝の冷氣の中、礼儀正しい活発な子供と挨拶を交わし、気持ちのよい私の一日が始まります。

檜崎賢治 どうにか いきとります。

西村和夫 今、庭ではスナップエンドウの白い花が咲いています。

橋本 滋 やっと 80 才になりました。80:20（歯）を達成しました！！次の目標は 90 才？

園 博 昨年 11 月、MRI 検査で隠れ脳梗塞の診断結果。大きな原因がタバコ。50 年間吸っていたが禁煙し 5 ヶ月。禁断症状もなく、何とか健康優先し、日々生活しております。

竹内久善 除草中のギックリ腰は泳げる状態まで回復し、諦めていたゴルフに向け無理せず体調を整えていきます。

上野 賢二 4 月より長女家族が横浜から福岡へ転勤となりました。近くに住むことになり、孫（4 才、2 才）の成長を間近で見られる楽しみが出来ました。

中村 晃 脊椎管狭窄症は、起床してから一時間ほど違和感がありますが、それからはほとんど気になりません。ジム通いは毎晩のお酒のために頑張っています。

野球観戦&懇親会



令和元年 5 月 14 日、JR 筑後船小屋駅に参加者 9 名が集合。うす曇りの絶好の観戦日和の中、球場までの道路の迂回具合が気にくわないなどと相変わらずのことを言いながら、「タマホームスタジアム筑後」に無事到着。

この球場は、ホークスのファームの球場として 3 年前オープンしたが、設備が素晴らしく地元では評判が良いので覗いてみることにした。

13 時に始まっている対阪神タイガース戦を途中から観戦。先発は和田毅、松坂世代で復活を目指し 6 回途中まで 1 失点の快投。バッターでは中村支部長と同姓同名のこちらも復活を目指す中村晃が 2 安打の活躍。

試合の結果は早稲田実業出身の野村君のタイムリーエラーなどが出て、ホークスが大敗したが一塁側・三塁側とも大声の声援の中、大いに野球観戦を満喫した。

次に、船小屋に久し振り訪れた方も多く、筑後広域公園の遊歩道や池、新幹線筑後船小屋駅を眺めて、景色の変貌ぶりに感慨を深めた。

夕方の会食はこちらも久しぶりの日若屋。参加者も近年最高の 13 名を数え、初参加者の方と数十年振りの再会もあり、おいにヒートアップした。

開催場所がメンバー構成上、北九州よりになりがちで、南九州在住の方にいかに参加してもらえるかが今後の課題。

南九州の方も、毎回とは申しませんが、時々参加でも大歓迎ですので、ご検討ください。



西村和夫 記

山九会ゴルフコンペ報告

1. 開催日時：令和元年 5 月 15 日（水）
2. 場 所：玉名カントリークラブ
3. 成 績：ハンディキャップ方式

順位	氏 名	成績	順位	氏 名	成績
優勝	廣政 誠	79	4	上野與志隆	85
2	真部邦則	82	5	坂本正志	90
3	竹内久善	84	6	橋本 滋	90

講評

- ① 玉名 CC は熊本県の最北玉名温泉郷の際にあり、新緑に囲まれた「森林公園コース」といっても過言ではない立派なゴルフ場。メンバーはいつもの 6 名。青空の下での楽しいコンペとなった。1 組目は上手クラス、2 組目は老若混交のいわゆるキャディ泣かせクラス、でプレーした。ゴールドティは 80 歳以上とし、他はすべてレギュラーティ使用とした。
- ② ところが、いくら景観を誇るとはいえ、パー 4 が殆ど 400Y 以上。ショートも 170～180Y と年寄りには酷なコース。グリーンは登りは極端に遅く、逆は早い。選手達は呆れ顔というより泣き顔。
- ③ 廣政選手は久しぶりのレギュラーティからのプレーでほとんど距離に参ったというがさすがの試合巧者で見事優勝。“むつかしくて、むつかしくて！今後はゴールドより打たせて”が優勝の弁。準優勝は例年 100 回のプレーをこなすのに、今年はペースダウンの 11 回目で、スコアよりゴルフの出来る幸せをかみしめた真部選手。3 位には練習量の少ない竹内選手、ティショットはさすがの運神スイングを見せてもグリーン周りではウロチョロする姿はキャディを笑わせたようだ。4 位の上野選手は出足に躓き、その後もばらつきの大きいショットで泣き笑いが激しい。ただ唯一のニアピン獲得者（使用クラブは内緒）。BB の坂本選手、本人も“私は上手なのか下手なのかわからなくなった”というが、下手に決まっている?!。しかし、パーも取っているの、どこかに光るものがあるのかも。BM の橋本選手、ゴルフはスコアではなく楽しく！キャディさんと楽しくプレーするものだ。そうである。余程キャディに迷惑をかけたものと推察する。

いずれにしても、どこのゴルフ場に行っても「むつかしくて、いいコースだ。スコアよりも楽しむゴルフ」が山九会の合言葉になって来た。

上野與志隆 記

【平成31年度支部活動報告及び予定】

◇ 既に実施した事項

年	月	日	活 動 内 容
31	01	23	(全体役員会)
	02	01	(鐘華 80 号)
	02	04	支部幹事会 (黒崎)
01	05	14	野球観戦 (9 名) 懇親会 (13 名)
	05	15	第 21 回山九会ゴルフ・玉名 (6 名)
	05	25	支部だより 36 号発行

◇ これからの予定

年	月	日	活 動 予 定
01	07		支部幹事会
	08	01	(鐘華 81 号)
	10	02	(鐘華会総会)
	11		第 19 回支部例会
	11		第 22 回山九会ゴルフ
	11		支部だより 37 号発行

(特記事項)

- ・野球観戦と懇親会については別に記載
- ・秋の予定については 7 月の幹事会で決めます。
- ・今年は鐘華会総会が開催されますので、多くの方の参加を期待します。

(会員移動)

- ・なし

【支部活動費 30 年度報告及び 31 年度予算】

項 目	30 予算	30 実績	31 予算
支部だより関連	15,000	13,147	14,000
写真プリント代	1,000	2,398	2,000
春の行事関連	4,000	4,913	5,000
交通費一部負担	4,000	4,000	4,000
例会関連	6,000	3,852	5,000
その他	0	130	0
合 計	30,000	28,440	30,000

(特記事項)

特になし

【定例役員会報告】

◇平成 31 年 1 月 23 日 (水) カネカクラブにて定例役員会が開催された。

◇ 主な内容は下記

① 会長挨拶

- ・支部長交代が行われた。
東京：鈴木→中村 (敏) 本社：島→寺田
- ・若手の活動参画を考える必要がある。
- ・今年は創立 50 周年記念総会を開催するので、準備員会を早急に立ち上げ、遠方からも多くの方に集まってもらえるようにしたい。
- ・財政状況は、新規加入者減で厳しくなっている。
- ・規約を現状に合わせて一部改正したい。

② 各支部の活動報告及び今後の予定について (高砂)

- ・高砂市議会議員選挙支援 (鷹尾治久氏) 選挙 (9 月 2 日) 結果は三期目で、得票数及び順位 (3 位) で過去最高の成績。

(大阪)

- ・再雇用勤務者の行事参加が少ない状況が続いている。新たな企画が必要と感じている。

(坂本)

- ・今年もユアネット関西本部のものづくり教室 (学校支援) に 8 名参加した。

(鹿島)

- ・ワイワイ会一神栖市の一部酒屋で第 3 階を開催。新会員 2 名の参加を得た。
- ・年 2 回のゴルフコンペは現役との交流を兼ねる。

(本社)

- ・談話会世話人交代 伊藤氏から津下氏に交代
- ・日本人の心・視て歩きー3 月から 11 月まで毎月開催

(東京)

- ・利き酒の会 10 月、金賞受賞の酒を嗜む。

③ 社活委員会報告

- ・鐘華ニュースでの広報
- ・現役との協働 退職年齢アップに伴う受講者と助言者のギャップ
- ・鐘華会 HP への掲載

あとがき

- ・渡邊和憲さんから、皇居勤労奉仕の話聞いて、「支部だより」に書いてもらうようお願いした。最初は支部会員ではないので辞退したいと言われたが、貴重な体験だからと強くお願いして了解してもらった。両陛下に近くで接するためには、奉仕団に加わるか、園遊会等の招待を待つ。あなたならどうする？ 但し、奉仕団は 75 才以下という条件がある。
- ・近況報告では、王寺さんの睡眠負債という病気を初めて知った。速く回復されることを祈念いたします。
- ・野球観戦は、1 軍と違って知らない選手が多く、初めて観る人は解説がないと、良くわからなかったようだ。地元の竹内さんや西村さんはいつも観ているので、今度は誰が 1 軍に上がるかとか楽しんでいるようだった。
- ・懇親会は 13 名の参加で、春の行事としては最も多くなった。筑後での開催が良かったのだと思う。今後の行事開催の参考にしたい。